

メールBOXに「i(愛)」のあるメール、眠っていませんか？

第6回「iのあるメール大賞」作品募集締切迫る！

2007年11月4日23時59分59秒まで募集中！

～ グランプリには賞金30万円を贈呈 ～

NTTドコモグループでは、2007年9月1日(土)から2007年11月4日(日)までの約2ヶ月間、第6回「iのあるメール大賞」の作品募集を行っています。全国から寄せられた作品は、秋元康さん、松本侑子さん、田中圭さん、黒木メイサさんから豪華審査員によって厳正な審査が行われ、2008年1月にグランプリを発表致します。

この「iのあるメール大賞」は、日常生活の中で当たり前になっているメールコミュニケーションに着目し、2002年から毎年行っているコンテストです。

< i(愛)のあるメール、眠っていませんか？ >

NTTドコモでは、思わず笑ってしまったメール、涙が出てきたメール、恥ずかしくて直接言えない想いを伝えたメール、そんな心温まるメールを広く集めて紹介することで、メールコミュニケーションを一つの「文化」として育てていきたいと考えています。締切にはまだ間に合いますので、メールBOXに眠ったままの「iのあるメール」を教えてください。応募の締切は11月4日23時59分59秒になっています。

< グランプリには賞金30万円を贈呈 >

今回のメール大賞では、グランプリ、準グランプリ、ドコモグループ各社賞、入賞 と4種類の賞を設定しています。グランプリには30万円の賞金を贈呈致しますので、多くの方からのご応募をお待ちしています。

< 掲載用QRコード >



<http://i-arumail.jp/pr/> (ドコモのケータイ・パソコン共通URL)
バーコードリーダー対応機種にて、上記バーコードを読み取るだけでアクセス可能。
傷・汚れ破損、光の反射などによっては読み取れない場合があります。

< 本件に関する報道関係者様 お問い合わせ先 >

「iのあるメール大賞」PR事務局(株式会社プラチナム内) 担当:市川・大澤
Tel: 03-5572-6073 FAX: 03-5572-6075

< 本件に関する一般読者様 お問い合わせ先 >

「iのあるメール大賞」事務局
Tel: 0120-767-410(全国着信対応)
平日午前10:00～午後6:00(土日祝日を除く)

参考資料：各審査員からのコメント



秋元 康（作詞家）

ある先輩から、『感謝』という2文字だけのメールが届きました。それは、僕へのお礼のメールなのですが、知らない人が読んだら、なんて無愛想で味気ない文面かもしれません。でも、その先輩のことをよく知っている僕には、本当に嬉しいメールでした。愛のあるメールは、送信者の顔が浮かびます。毎回、沢山の素敵なメールが集まるこの『iのあるメール大賞』、今から、楽しみです。みなさんの送る愛、送られる愛に触れさせてください。

恋人たちがやりとりする携帯電話のメールには、いつも『i』があふれていると思います。「愛している」「好きだよ」という言葉に、ハートマークも満載でしょう。けれど結婚して家庭をもつと、携帯のメールは、「業務連絡」になりがちです。「お母さん、今夜は帰りが遅くなるよ」とか、「お父さん、駅までむかえに来てね」、「塾は7時ですよ、忘れずに行きなさい」とか……。友だちと交わす携帯メールも、待ちあわせの相談、「遅れます」といった、連絡事項が多い気がします。携帯のメールは、そうした連絡を、外出先から簡単に送信できるのが利点の一つですが、ときには、「業務連絡」だけではなく、大切な人に手紙を書くように、『i』のあるメールを送ってみる……。ハートマークをつけるのではなく、感謝の気持ちや思いやり、励まし、好意、なぐさめ、ほめ言葉を、文章にして、さりげなくつたえる。『iのあるメール大賞』は、そうした携帯メールの豊かな可能性を、人と人をつなぐ言葉の力を、あらためて教えてくれる催しだと思います。



松本 侑子（作家・翻訳家）



田中 圭（俳優・タレント）

相手にちゃんと想いを伝えたくて一生懸命作ったメールが、その人の宝物になったり。何気ないつもりで送ったメールでも、その人を救うきっかけになったり。面と向かって言えなくても、メールだと話せたり。メールだからこそ伝わったり。メールって不思議ですね。前より字は書かなくなっちゃったけど、誰かを思いやる気持ちは大きくなっていきます。皆さんからの温かい気持ちがいっぱい詰まった『iのあるメール』。楽しみにしています！

最近もらって嬉しかったメールは、姪っ子が姉のケータイから私にくれたメール。離れていてなかなか会えないけど、写真付きメールがきたりして、いつも可愛いなあと思われています。でも、自分の気持ちともなると、メールで本当の気持ちを伝えるのは難しいですね。メールだから強がれたりもするけど……。私はそれを読む相手に自分の素直な気持ちが伝わるメールを心がけてます。みなさんはどのようなメールをしていますか？



黒木 メイサ（女優）

（順不同・敬称略）

第6回 「iのあるメール大賞」作品募集要項

- 名称: 第6回「iのあるメール大賞」
- 応募期間: 2007年9月1日(土) ~ 2007年11月4日(日) 23時59分59秒
- 応募資格: 日本国内に在住の方 国籍・性別・年齢問わず
- 応募方法: ドコモのケータイ(FOMA/mova)もしくはパソコンから、<http://i-arumail.jp/pr>にアクセスし、ガイドに従って応募。

	テキストメール	装飾メール
対 象	文字、絵文字、顔文字などテキストで作成されたメール	色つき文字、背景色、文字の動きなど、装飾されたメール(ドコモのデコメールやパソコンのhtmlメールなど)
タイトル	全角20文字以内 (英字は半角40文字以内)	全角20文字以内 (英字は半角40文字以内)
メール本文	全角5,000文字以内 (英字は半角10,000文字以内)	10Kバイト以内
エピソード	全角250文字以内 (英字は半角500文字以内)	全角250文字以内 (英字は半角500文字以内)

- 発表方法: 審査員による厳正な審査の上、受賞作品を決定し、2008年1月以降、新聞・ホームページ上などで発表させていただきます。
- 賞設定: グランプリ【30万円】 1作品 準グランプリ【各10万円】 10作品
ドコモグループ各社賞【7万円】 18作品 入賞【各2万円】 50作品
- 審査員: 秋元 康、松本 侑子、田中 圭、黒木 メイサ (順不同・敬称略)
- 主催: NTT DoCoMoグループ

< 応募に関するご注意 >

ご応募上のご注意:ご応募の前に必ず下記「応募規約」をご確認・同意のうえご応募ください。
ご応募の際は必ず<http://i-arumail.jp/>よりお願いいたします。ご応募に必要な通信料等は応募者のご負担とさせていただきます。ペンネームや架空のお名前での応募はお断りしております。次の応募作品は審査および受賞の対象外とさせていただきます。(1)未発表オリジナル作品でない作品 (2)第三者の著作権やプライバシー等の権利を侵害し、またはそのおそれのある作品 (3)公序良俗に反し、または反するおそれのある内容の作品 (4)誹謗中傷、営利を目的とした内容の作品 (5)メールマガジンやメーリングリストのメール、ハイパーリンクがついたメール等による作品 (6)その他、主催者であるNTTドコモグループ(以下、「当社」といいます)により、「iのあるメール大賞」の趣旨に合わない等受賞作品としてふさわしくないと判断した場合 テキストメールのご応募はテキストメールに限らせていただきます。カメラ付きケータイおよびパソコンからの静止画および動画などの添付メールはご応募になれません。装飾メールのご応募は、メール本文容量10Kバイト以内のデコメールまたはパソコンからのhtmlメールに限らせていただきます。htmlメール上でご使用になるフォントについては、一部再現できない場合があります。応募作品の著作権は当社に譲渡していただきます。著作物は当社で共有いたします。その場合、応募者は著作権者人格権を一切主張しないものとします。応募作品の作品中に第三者の著作物(文章・写真・イラスト、装飾メールテンプレートなど)を使用する場合は、必ず著作権者から許諾を受けたうえで応募してください。万一、メールの相手方や第三者から権利侵害、損害賠償等の主張がなされた場合、応募者は自己の責任をもって当該主張の解決を図るものとし、当社は一切の責任を負わないものとします。ご応募の際にお客様が入力された情報は、通信途中での盗聴や改ざんを防止する為、SSL通信により暗号化されて送信されます。したがって、SSL通信に対応していない機器からはご応募できません。応募者の個人情報は適切な方法で管理し、一定期間保管したのち消去させていただきます。また、本コンテストの目的にのみ利用し、目的以外に使用することはありません。お客様の個人情報をお客様の同意なく業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。(法令等により開示を求められた場合を除く) 応募作品については、新聞・雑誌・ホームページ等に作品および応募者のお名前・年齢・居住地(都道府県名および管轄のドコモグループ各社名)を公表させていただきます。受賞の権利を個人に譲渡または換金することはできません。受賞者のご住所、転居先等が不明でご連絡が取れない場合は、受賞が無効となる場合があります。受賞作品発表後でも、応募規約違反や虚偽の記載、またはその恐れがあると当社が合理的に判断した場合は、受賞者にご通知のうえ、受賞を取り消させていただきます。当社の社員および関係者のご応募はご遠慮ください。

参考資料：昨年度受賞作品

グランプリ受賞作品

タイトル

寺本 卓二さん

元気が

本文

毎日見てるぞ。お前がどこにいても家の中にお前が居る。たった新聞紙半分の日本地図。お前は今日もテレビの横の壁の中や。

エピソード

俺が長距離トラックの運転手をしている時に初めて親父から届いたメール。パーキングエリアで読んだ瞬間に涙があふれ出し、声を出して泣きました。

準グランプリ

(タイトル) Re:

田中 道子さん

(本文)

へこんだら、下からたたけば治るぞよ。

エピソード

色々あって落ち込んでた時に、「凹んでるんだけど……」って友達に送った返事。悩んでいるのがチョットばかり思えました。